

南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム



南海トラフ地震による香川での液状化被害の減災に
努めるために異業種の有志で設立しました

LS四国登録年度：令和4年度

■基本情報

分科会の概要

液状化のメカニズムの認識、被害の可能性の調査・判定、対策の検討、人材育成等について取り組みます

■分科会で目指す課題解決

1. 液状化メカニズムを学び、関連最新技術及びサービスを紹介し防災意識を高める。
2. 関連技術の調査検証及びデモンストレーション及び学生へ技術体験会を実施し、最新技術の認知度を高め、人材育成にも貢献する。
3. 分科会の取組みにより、可能な限り南海トラフ地震の液状化被害の減災に努める。

★分科会メンバー 荒木裕行（香川大学創造工学部 准教授）、馬淵太助（㈱ペダル）、上原訓（㈱サプライズファクトリー）、合田豊（㈱空撮技研）、高松信用金庫、永田義彦（㈱FACE）、永田隆一（㈱FACE）



■令和6年度の取組報告

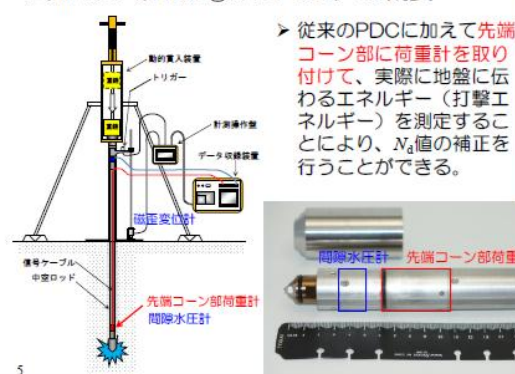
I P D C 導入準備開始 液状化に関するセミナー第2回目準備中

令和6年10月25日に国土交通省告示第1113号が改定となり、PDC試験結果を建築物基礎設計として利用できるようになりました。これにより、ボーリング調査に加えてPDC試験の普及もさらに見込めるように、なりました。

I P D Cについて
従来のPDCに加えI P D C（二成分センサー）を導入することにより、さらに正確なデータ取得が可能となり、その導入準備を進めています。

セミナーについて
開催時期、内容等検討中

2. iPDC (intelligent PDC) の概要



■分科会連絡先

事務局：株式会社FACE

TEL： 087-813-6811
E-Mail：info@face215.com